

4

東学思想と大巡思想の天地関係の自生的近代性の比較

Comparison of Heaven-Earth Relationships

東学思想の天地鬼神論

鬼神(鬼神)の再解釈

東学思想において「鬼神」は神明(神明)ではなく超越天(天外天)を意味

- 性理学における陰陽作用としての鬼神概念
- を超越鬼神を超越天の気化作用として再解
- 釈天地が鬼神=天地は超越天の気化作用

「天地亦是(天地亦是)鬼神(鬼神)であり鬼神亦是(鬼神亦是)陰陽(陰陽)であることをかくも知らなかったなら、經典(經典)を調べても何になろうか、道(道)と徳(徳)を知らなかったならば、賢人君子(賢人君子)がいかに知り得ようか」
龍潭遺詞、道徳歌

超越天と気化作用

- 気化作用(氣化作用):超越天の至気(至氣)が天地を作る原理
- 性理学との相違:性理学は陰陽作用の実体的説明としての鬼神を論じたが、東学は超越天を強調
- 近代性の試み:超越天を通じて性理学を超える近代性の追求
- 限界点:神明概念の未受容により儒教の前献を超えられない

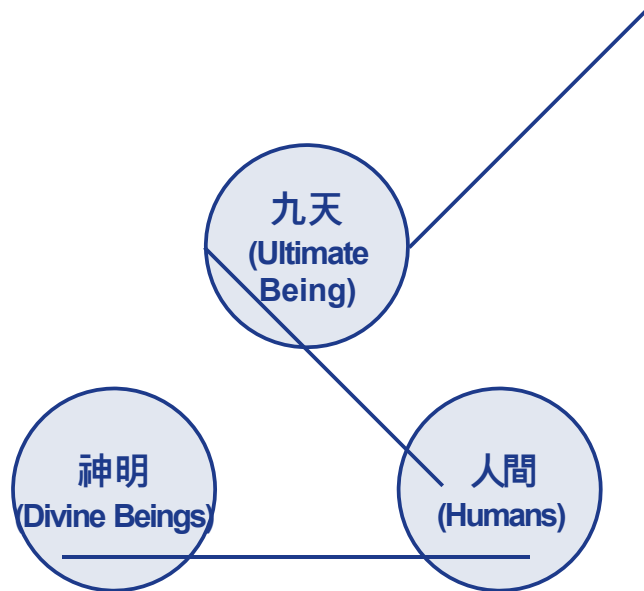
誠(誠)思想の強調

東学思想は「誠敬信思想」を強調したが、儒教とは異なり、天地の天ではなく天地を作った超越天への誠(誠)を強調

“吾道尊而約不用多言義別無他道豈豈敬信三字”

東学思想は超越天を通じた近代性を追求したが、神明概念を受容できず、完全な自生的近代性には到達できなかった

大巡思想の天地誠敬信論



三角構図の意義

- ◆ 九天-神明-人間の疎通の強調
- ◆ 東学思想と異なり神明概念を積極的に受容
- ◆ 神明を媒介とした天地間の調和と秩序の確立

誠敬信(誠敬信)の意味

誠 (1983.10.26)

創造性、天と人間をつなぐ通路

敬 (1983.10.26)

恭敬と尊重、天地に対する礼

儀

信 (1983.10.26)

信頼と信、天地運行の基盤

「生(生)と寿命(壽命)と福祿(福祿)は天地(天地)の恩恵(恩恵)である

がゆえに、誠(誠)・敬(敬)・信(信)をもって天地(天地)報恩(報恩)の大義

(大義を立てて、道、道を立てる)

誠敬信の差別性

儒教思想	天-人間関係における誠(誠)の強調
東学思想	超越天への誠(誠)の強調
大巡思想	九天-神明-人間の三角構図における誠敬信

道氣長存と相生概念の分析

東学思想道器長存(道氣長存)

- 意味: 道の氣運が永く保存される(邪なるものは入り得ない)
- 特性: 力に対して力で対抗する意味を強調
- 強調点: 相克(相克)の力、斥倭(斥倭)の重視
- 限界: 真心堅守(真心堅守)の価値が不足
「道氣長存邪不入、世間衆人不同歸」(立春詩)

大巡思想相生(相生)

- 意味: 解冤相生(解怨相生)、万物の調和ある生成
- 特性: 九天の陰陽五行運行原理としての調和の追求
- 強調点: 真心堅守(真心堅守)「福先来」の原理
- 発展: 「悪を悪で報いるな」という相生原理の具現
「真心堅守福先来 真心堅守福先来」

相生

陰陽五行の原理
九天(九天)による五行の条理(調理)

相克

東学思想相克の力を追求、氣化(氣化)と斥倭を強調 vs 大巡思想解冤相生の調和、陰陽五行の均衡を追求

西洋に対する認識の差異

東学思想西学に対する対立的態度

- 名称:「東学」という名称自体が「西学」
に對抗
- 性格:西学に反対する自生的近代性の追
求
- 影響:西洋近代性の東洋的起源を主張
- 特徴:性理学を超えようとする自生的近
代化

東学は西学とともに東洋に再輸入され、中国近世の道教と性理学が総
合され、「天使問答」という上帝の啓示形態として成立

大巡思想包容的東西世界観

- 名称:「大巡」という用語における包容の意
味を強調
- 性格:東西相生関係の追求
- 影響:西洋近代性の東洋的受容と発展
- 特徴:陰陽合徳の観点から東西の調和を模
索

「東有大聖人曰東學西有大聖人曰西學」(東に大聖人ありて曰く東学
西に大聖人ありて曰く西学という)

東学思想西洋に対する警戒と対立中心 → 大巡思想東西洋の陰陽合徳的相生を追求

実学と西学の関係にも現れるように、朝敵併後期の西洋文明への認識は複合的であったが、大巡思想
はマテオ・リッチのような西洋人物を「天上の文明を地に伝えた人物」と評価するなど、より包容的観点を提
示

日本に対する観点の比較および結論

東学思想の日本観

- ◆ 敵対的認識: 「犬のような倭賊」
- ◆ 態度: 西洋と日本に対する警戒
- ◆ 特徴: 斥倭(斥倭)を強調する相克の力の追求
- ◆ 道器長存(道氣長存): 力に対して力で対抗する意味

「道氣長存邪不入(道氣長存邪不入)」

大巡思想の日本観

- ◆ 解冤(解怨): 壬辰の乱以降、道術神明間の隻(感)を解く観点
- ◆ 相生観点: 「日本は日本人だから言葉遣いだけでも厚くせよ」
- ◆ 特徴: 日本解冤(日本解冤)は甌山化天後、最初に実現された天
- ◆ 地公事(眞心堅守): 相克を相生で解かねばならないこ

とを強調
「眞心堅守福先來(眞心堅守福先來)」

結論: 自生的近代性の意義

概念的意義

- ◆ 超越天と天地神明の關係の再定立 自
- ◆ 生的近代性の多様な経路の提示 朝鮮
- ◆ 後期思想との連続性と断絶

実践的意義

- ◆ 東学: 斥倭・斥洋中心の抵抗的近代性
- ◆ 大巡: 解冤相生中心の包容的近代性 相
- ◆ 克と相生の均衡と調和の模索

現代的示唆点

- ◆ 東アジア思想史の独自の近代化可能性伝
- ◆ 統思想の現代的再解釈の方向性 東西洋文
- ◆ 明交流の新たなパラダイム提案

両思想は韓国の自生的近代性を構築する過程で異なる接近方式を提示し、韓国思想史の独創的發展経路を示す重要な事例である